

# 千田精密工業(前沢)

## 製造部生産技術課

# 千葉 教主さん(29)

かずゆき

前沢区の金属加工業(株)千田精密工業(千田伏二夫社長)に入社してから今年で丸7年。千葉教主さん(29)は、製造部生産技術課に所属する若手プログラマーだ。

同社が請け負うのは、非量産の切削加工が中心。開発段階の試作部品など、いわゆる「一品物」が大半を占める。同業他社で加工できず、困った顧客が慌てて持ち込むなど、難易度が高い依頼が多い。

切削加工は、マシンングセンターという機械設備を使って行われる。顧客が示した図面通りに加工するため、この設備を動かす「指令」をパソコンに打ち込むのが、千葉さんの役割だ。

まず、手元に届いた図面を基に、部品の形状を確認。加工現場の技術者と相談しながら、最適な刃物を選んだり、加工手順を決めたり。それらを決めてから、マシンングセンターの動かし方をプログラミングする。短期の依頼も多く、精度はもちろん、円滑な進捗も欠かせない。寸法の精度は、1ミクロン

# 家族守る使命感

# Work Life

(1000分の1ミ)単位で求められることもある。プログラミングを誤れば、寸法に誤差が生じ、不良品となってしまふ。依頼を受けてから初めて目にする図面がほとんどで、顧客の注文にきちんと応えるには、知識と経験がものをいう。

月平均で20点ぐらいのプログラミングを任せられ、「常に自分を成長させなければならず、難しさも感じるが、その分やりがいがある」と話す。机を並べる二つ年上の経験豊富な先輩プログラマーにも相談しながら仕事を進める。直属の上司に当たる佐藤淳・生産技術係長(31)は、「周りと意

【会社データ】  
前沢区字五合田19-1。資本金は8000万円。従業員数は本社・前沢工場39人、大槌工場50人、東和工場21人。1979(昭和54)年5月、千田伏二夫社長(71)が出身地の同区内で創業。半導体や液晶関連装置、航空機、自動車にかかわる各種精密部品、金型製造・メンテナンスなどを手掛ける。現在地では移転後の2006年8月から操業。95年に大槌工場、2000年に東和工場も設けた。「確かなものづくりで信頼される企業」を経営理念の一つに掲げる。

「切削加工の知識と技術も併せてはプログラマーとして仕事の幅が広がる」。向上心は高く、実際に機械加工の2級技能検定にも合格している。

仙台市の専門学校を卒業後、21歳で一関市内の製造業に就職。しかし半年後、リーマンショックの余波で、同期入社の人とともに解雇される憂き目に遭った。社会の世知辛いいきなり直面したものの、「ショックは全く受けなかった」ときっぱり。「一つの経験と思い、次に進んでいこう」と前向きに考えた。半年間の就職活動を経て、2010(平成22)年6月、千田精密工業に入社した。

出身地の一関市東山町で暮らす。1年半前に妻忍さん(26)と結婚。長男・心暁ちゃん(11カ月)の成長が何よりも楽しい。家庭を守りながら、仕事上の能力向上を図り、会社にも必要としてもらえるよう今後も頑張りたい」と意欲をみせる。

趣味はバイクでのツーリング。独身時代は仲間と中型バイクで東北各地を巡ったが、結婚後は控えめに。勤務後も家族が待つ自宅に真っすぐ帰宅する。休日は家族サーブिसでリフレッシュするようになり、「生活を支えていかなければならない」という使命感がある。将来は「マイホームを建てたい」と夢は広がる。

(若林正人)

